

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
ECCコンピュータ 専門学校	平成9年 3月28日	宇佐見 眞也	〒530-0015 大阪市北区中崎西2丁目3番35号 (電話) 06-6374-0144			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人山口学園	昭和58年11月22日	理事長 酒元 英二	〒530-0015 大阪市北区中崎西2丁目1番7号 (電話) 06-6366-0144			
目 的	IT及びゲーム業界で必要とされるソフトウェア開発技術、知識及びチーム制作の実践教育を通じて高度な技術力・柔軟な思考力・豊かな人間性を有し、創造力・リーダーシップ・問題解決力に優れた企業及び社会が必要とする人材を育成すること。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門 課程	高度情報処理研究 学科国際ITエキス パートコース	4年(昼)	3630時間	—	平成22年文部科学大 臣告示第156号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	2400単位時間 (又は単位)	1230単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
560人の内数	11人(コース人数)	1人	10人	11人		
学期制度	■前期：4月1日から9月30日 ■後期：10月1日から3月31日			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 各科目の単位認定は、以下の基準を全 て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。 総合評価点が50点以上であること。	
長期休み	■学年始め：4月11日 ■夏 季：7月21日から8月31日 ■冬 季：12月21日から1月9日 ■学 年 末：3月31日			卒業・進級条件	(卒業の要件) 卒業該当学年の各コ ースに設定された単位のうち、54単 位を修得しているものに対して、学年 末に卒業判定会議を開催し、学校長が 卒業を認定する。  (進級の要件) 進級該当学年の各コ ースに設定された単位のうち、58単 位を修得しているものに対して、学年 末に進級判定会議を開催し、学校長が 進級を認定する。	

<p>生徒指導</p>	<p>■クラス担任制 (有・無)          ■長期欠席者への指導等の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス担任による出欠確認</li> <li>・電話による対応</li> <li>・担任面談</li> <li>・保護者会</li> <li>・ホームルームでの指導</li> </ul>	<p>課外活動</p>	<p>■課外活動の種類          ECC EXPO、スポーツ大会、クラス交流会、文化祭（地球祭）、海外語学留学（英国、韓国）、海外インターンシップ、E3ツアー、東京ゲームショウツアー、クリ博ツアー、SEDECツアー、福岡ゲーム会社ツアー、IT最先端企業ツアー、OB交流会、ベトナム海外研修</p> <p>■サークル活動 (有・無)</p> <p>ゲーム制作クラブ、キャラクタークリエイション部、ネットワーク研究会、アナログゲーム研究部、軽音楽部、バスケットボール部、スマートフォンアプリ開発サークル、シナリオ制作同好会、ゲーム背景研究サークル、写真サークル、テニスサークル、ボーカルサークル、アニメ作画サークル、ゲーム企画研究同好会、学生会、野球部、バレーボール部、バスケットボール部</p>
<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界【IT業界】          株式会社日本総研情報サービス・株式会社KDS・株式会社MIS・テクニカルソフトウェア株式会社・エコービジネスソフトウェア株式会社・株式会社ドットウエルビーエムエス</p> <p>■就職率 100%          (平成28年3月卒業生)</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合 87.5%          卒業生8名 就職希望者7名 就職者7名          (平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報)</p>	<p>主な資格・検定</p>	<p>基本情報技術者試験          応用情報技術者試験          ITパスポート試験          実用英語検定、TOEIC          LPIC          Microsoft Certified Associate          シスコ技術者認定CCNA、CCNP          ORACLE MASTER Gold、Silver、Bronze          Oracle認定JavaプログラマOCJ-P          MOS Excel2010、Word2010、Access2010、PowerPoint2010</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成27年4月1日在学者 20名 (平成26年4月入学者を含む)          平成28年3月31日在学者 20名 (平成27年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由          経済的理由・進路変更</p> <p>■中退防止のための取組          担任面談の実施、出席管理 (欠席者への電話連絡)、保護者会の実施</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: <a href="http://comp.ecc.ac.jp/">http://comp.ecc.ac.jp/</a></p>		

## 1. 教育課程の編成

### (教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

#### 1. 教育課程編成委員会の目的

I T, ゲーム業界は変化の激しい業界であり、必要とされる知識技術も年々変化している。そういった就業先業界における人材の専門性に関する動向、新たに必要となる実務に関する知識、技術などを十分に把握、分析した上で当該専門課程の教育を施すにふさわしい授業科目の開設または授業内容・方法の改善工夫等を行うために教育課程編成委員会（以下「編成委員会」という）を設ける。

#### 2. 教育課程編成委員会の構成

編成委員会は校長、校長が指名する教職員、及び当該学科の専攻分野に関する企業等（以下「企業等」という）から校長が委託する委員により構成する。委員の任期は、2年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残存期間とする。委員は、再任することができる。

#### 3. 教育課程編成委員会の運営

編成委員会の委員長には校長が就任する。委員長は、会務を総理し、編成委員会を代表する。委員長に事故があるとき、又は、委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。編成委員会は必要と認める場合に委員以外の者に出席を求めることができる。

学校側委員は企業等委員に対しカリキュラム、科目、授業方法を説明し必要があれば授業参観などの機会を作り十分な情報提供に努める。その上で企業等委員からの意見を収集し記録する。

編成委員会は委員以外の企業からも積極的に情報を収集しそういった意見をも踏まえて議論を行うものとする。

#### 4. 教育課程編成委員会実施結果の活用

教育課程編成委員会の実施結果については、高度情報処理研究学科当該コースを構成する教職員により十分に検討し、有効な方策に関してはこれを採用し、速やかに授業科目の開設または授業内容・方法の改善を行い。教育内容の質の保証と向上に継続的に努める。

### (教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年7月7日現在

名 前	所 属
山崎 誠	株式会社ソフトレット
田邊 昌之	株式会社 システナ
鷺北 賢	さくらインターネット株式会社 (大阪デジタルコンテンツビジネス創出協議会)
弓手 弦	株式会社 システナ

### (開催日時)

第1回 平成27年 7月7日 13:30~15:30

第2回 平成28年 2月 (予定)

## 2. 主な実習・演習等

### (実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

#### 1. 企業等との連携による実習・演習等の目的

業界で使用されている標準技術、最新技術等を学生が体験し習得する為に、企業等と連携して実習・演習を行う。

#### 2. 企業等との連携による実習・演習等の運営

企業等との連携による実習・演習等は本校教員と企業等から派遣された担当者が共同して実施する場合と、企業等から提供されたカリキュラム及び教材をもとに本校教員が授業を実施する場合がある。

実施された実習・演習等については教務責任者、担当分野責任者及び教育課程編成委員会で内容を検証し改善を図る。

#### 3. 企業等との連携による実習・演習等の評価

本校教員と企業担当者が共同して実施する場合は、授業の成果に対して企業担当者の評価を基に本校教員が成績評価を行う。カリキュラム等を提供されて実施する場合は、企業等の成績評価規程に従って本校教員が成績評価を行う。

科目名	科目概要	連携企業等
ビジネス・シミュレーション演習Ⅰ	独自のWebビジネスシステムを用いて、仮想の会社を設立し、仮想のインターネットショップを運営する。	キャリアデザイン・インターナショナル(株)・ジーワン(株)・(株)クリップオン・リレーションズ
ビジネス・シミュレーション演習Ⅱ	独自のWebビジネスシステムを用いて、仮想の会社を設立し、仮想のインターネットショップを運営する。	キャリアデザイン・インターナショナル(株)・ジーワン(株)・(株)クリップオン・リレーションズ

## 3. 教員の研修等

### (教員の研修等の基本方針)

#### 1. 推薦学科の教員に対する研修・研究の目的

教務規約第35条に定められている通り、教員の質を一定以上に保つことと技術の向上のために、業界で使用されている標準技術、最新技術等を教員が直接企業等から学ぶ研修と、教授技術等の教育に関わる研修を毎年度それぞれ1回以上実施する。

#### 2. 推薦学科の教員に対する研修・研究の運営

研修については講師を本校に迎え入れて教員全員が同時に受講する全体研修と、一部の教員が参加する外部研修を適時組み合わせ実施する。一部の教員が参加する外部研修については、その研修内容について報告会を実施するなどして教員全体へその情報を伝える。

## 4. 学校関係者評価

### (学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月2日現在

名前	所属
伊藤 裕一	インフォームシステム株式会社
野間 伸治	株式会社アコードセブン
郡山 太志	卒業生 (ITエンジニア)
谷垣 允哉	卒業生 (ITエンジニア)
前田 雅範	済美福祉センター連合運営委員会会長
岡本 彩奈	

### (学校関係者評価結果の公表方法)

当校ホームページ([URL:http://comp.ecc.ac.jp/](http://comp.ecc.ac.jp/))にて公表する。

## 5. 情報提供

### (情報提供の方法)

当校ホームページ([URL:http://comp.ecc.ac.jp/](http://comp.ecc.ac.jp/))にてデータとして提供する

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ハードウェア概論_A	コンピュータを構成するハードウェアの仕組みや働きについて学習する	1前	30	2	○		
○			ソフトウェア概論_A	コンピュータを効率よく動かすためのソフトウェアの種類や利用技術について学習する	1前	30	2	○		
○			アルゴリズム_A	プログラミングの基盤となるアルゴリズムの基礎を学習する	1前	30	2	○		
○			アセンブラ	基本情報技術者試験用アセンブラ言語 (CASL II) を学習する	1前	30	2	○		
○			C言語	代表的プログラミング言語であるC言語の基本を学び、プログラミング能力の基礎を習得する。	1前	60	4	○		
○			C言語演習	代表的プログラミング言語であるC言語の基本を学び、プログラミング能力の基礎を習得する。	1前	60	4		○	
○			Cisco ネットワーク I	シスコネットワーキングアカデミー、ネットワークの基本概念を学ぶ。午前免除試験の内容も学習。	1前	30	2	○		
○			Cisco ネットワーク演習 I	シスコネットワーキングアカデミー、ネットワークの基本概念を学ぶ。午前免除試験の内容も学習。	1前	30	2		○	
○			SQL	SQLを用いてデータベースの様々な検索やデータ操作などの基本的な利用方法を学習する。	1前	30	2	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			SQL演習	SQLを用いてデータベースの様々な検索やデータ操作などの基本的な利用方法を学習する。	1前	30	2	○		
○			IT検定対策	IT分野の基本資格の合格を目指す。	1前	30	2	○		
○			一般英会話 I	ゲーム・クリエイティブ・IT・デザイン業界就職後に必要な日常レベルの英会話を習得する。	1前	30	2	○		
○			VB I	Visual Basic .NET を利用したプログラミングの基礎技術を習得する。	1後	60	4	○		
○			VB 演習 I	Visual Basic .NET を利用したプログラミングの基礎技術を習得する。	1後	60	4		○	
○			Windows 環境設定演習	Windows の環境設定、ネットワーク構築に必要な基本知識、技術について学習する。	1後	30	2		○	
○			Oracle アーキテクチャ	ORACLEデータベースの基本管理やアーキテクチャを習得する。	1後	30	2	○		
○			Oracle アーキテクチャ演習	ORACLEデータベースの基本管理やアーキテクチャを習得する。	1後	30	2		○	
○			Java I	オブジェクト指向型言語であるJava プログラミング言語の基礎を習得する。	1後	30	2	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Java 演習 I	オブジェクト指向型言語である Java プログラミング言語の基礎を習得する。	1 後	30	2		○	
○			基本情報対策 I	基本情報技術者試験に出題される内容を理解し、問題演習を行う。	1 後	90	6	○		
○			ビジネスアプリケーション演習_B	Word・Excel・Power Point の基本操作を学ぶ。	1 後	30	2		○	
○			Web 演習 I_B	Web ページ作成に必要な言語「HTML」について学びます。	1 後	30	2		○	
○			データベース演習 I_B	Access の基本操作を習得し簡単なデータベースを利用方法を学ぶ	1 後	30	2		○	
○			実務研究	社会の動きや経済の仕組みを理解し、何が問題かを考え、自ら課題を見つける能力を養う。	1 後	30	2	○		
○			一般英会話 II	ゲーム・クリエイティブ・IT・デザイン業界就職後に必要な日常レベルの英会話を習得する。	1 後	30	2	○		
○			SIC (夏期集中講座) 2016※	夏期に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指す。 ※4 単位は最大コマ数の場合。コマ数によって1・2・3 単位に減る場合あり。	1 前	60	4	△	△	
○			SPIC (春期集中講座) 2016※	春期に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指す。 ※4 単位は最大コマ数の場合。コマ数によって1・2・3 単位に減る場合あり。	1 後	60	4	△	△	

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			基本情報対策Ⅱ	コンピュータ専門学校の必須資格である情報処理技術者試験の合格を目指す。	1後	90	6	○		
○			Computer Exercise	状況に応じて情報機器を効率よく使いこなし、多方面でコンピュータを活用できる実践的能力を養う	2前	30	2		○	
○			Listening&Speaking	英語を母国語としない人にとって最も効果的だと言われているティームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師が担当)で、コミュニケーション能力を磨きます。	2前	60	4		○	
○			Grammar Composition	語学の基礎となる文法を洋書で学習し、Think in Englishを目指します。	2前	60	4	○		
○			Reading & Writing	英文の構造(ポイントを書く箇所、よく使うキーワードなど)を学び、少量読んで効率よく情報を得るテクニックを身に付けます。	2前	30	2	○		
○			STEP/TOEIC 対策	英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。	2前	90	6	○		
○			Power English	異文化を理解するために活きた英語を学ぶ実践クラス。	2前	30	2	○		
○			Overseas Preparation	短期留学に必要な心構え、学習用、生活での留意点など、カナダ・英国及び留学期間の相違に対応し、学習します。	2前	30	2	○		



授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Real Life English	仕事で英語を使う時に必要なフレーズやボキャブラリーをネイティブ講師から体得する。	2前	30	2	○		
○			Japanese Culture	日本文化を英語という違った角度から学習し、日本について英語で説明できるようにします。	2前	30	2	○		
○			パソコン演習 (Word) I	ビジネスで求められる文書スキルを身に付け、サーティファイ Word 検定3級合格を目指す。	2前	30	2		○	
○			就職対策 I (国際外語)	エントリーシート記入のための自己分析、業界研究、志望動機を作成する。	2前	30	2	○		
○			Short-term Study Abroad	海外でホームステイをしながら語学学校に通います。英語漬けの生活で英語力を高めます。	2後	450	30	△	△	
○			VB II	Visual Basic を利用した Windows プログラミングの応用技術を習得する。	3前	30	2	○		
○			VB 演習 II	Visual Basic を利用した Windows プログラミングの応用技術を習得する。	3前	30	2		○	
○			Java II	オブジェクト指向型言語である Java プログラミング言語の応用を習得する。	3前	30	2	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			Java 演習 II	オブジェクト指向型言語である Java プログラミング言語の応用を習得する。	3前	30	2		○	
○			OracleDBA 演習	Oracle を利用して DBA (DataBase Administrator) の技術を習得する。	3前	60	4		○	
○			C#プログラミング	Visual C#を使ったプログラミング技術について学習する。	3前	30	2	○		
○			C#プログラミング演習	Visual C#を使ったプログラミング技術について学習する。	3前	30	2		○	
○			ビジネス・シミュレーション演習 I	独自の Web ビジネスシステムを用いて、仮想の会社を設立し、仮想のインターネットショップを運営する。	3前	60	4		○	
○			Around the World I	国別に基本情報、言語、歴史的な所などを学習。豆知識やあまり知られていない事実にも触れる。	3前	30	2	○		
○			Reading & Writing I	アメリカ航空宇宙局が開発したメソッドなどを用いて速読・多読に取り組み、英語を英語で理解する習慣を身に付ける。	3前	30	2	○		
○			Grammar Composition I	語学の基礎となる英語の文法を洋書で学習し、Think in English を目指す。	3前	60	4	○		
○			キャリアデザイン	仕事観を学び、就職に対する意識を高めるとともに、各自に必要な知識・技能の確認を行う。	3前	30	2	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			VBⅢ	Visual Basic を利用した Windows プログラミングの応用技術を習得する。	3後	30	2	○		
○			VB 演習Ⅲ	Visual Basic を利用した Windows プログラミングの応用技術を習得する。	3後	30	2		○	
○			PHP I_B	サーバサイドスクリプト言語 PHP の技術を習得し、データベースを利用した独自 Web サイトを構築する。	3後	30	2	○		
○			PHP 演習 I_B	サーバサイドスクリプト言語 PHP の技術を習得し、データベースを利用した独自 Web サイトを構築する。	3後	30	2		○	
○			国家試験対策 I	コンピュータ専門学校の必須資格である情報処理技術者試験の合格を目指す。	3後	90	6	○		
○			ビジネス・シミュレーション演習Ⅱ	独自の Web ビジネスシステムを用いて、仮想の会社を設立し、仮想のインターネットショップを運営する。	3後	60	4		○	
○			Web 演習Ⅱ_B	Web ページ作成に必要な CSS3、JavaScript について学び、動的な Web ページを制作する知識と技術を学ぶ。	3後	30	2		○	
○			Around the WorldⅡ	国別に基本情報、言語、歴史的な所などを学習。豆知識やあまり知られていない事実にも触れる。	3後	30	2	○		
○			Reading & WritingⅡ	アメリカ航空宇宙局が開発したメソッドなどを用いて速読・多読に取り組み、英語を英語で理解する習慣を身に付ける。	3後	30	2	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			Grammar Composition II	語学の基礎となる英語の文法を洋書で学習し、Think in English を目指す。	3 後	60	4	○		
○			就職対策 I	一般的な知識や社会情勢を学習し、就職試験および就職活動に役立つ能力を身につける。	3 後	30	2	○		
○			SIC (夏期集中講座) 2016※	夏期に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指す。 ※4 単位は最大コマ数の場合。コマ数によって1・2・3 単位に減る場合あり。	3 前	60	4	△	△	
○			SPIC(春期集中講座) 2016※	春期に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指す。 ※4 単位は最大コマ数の場合。コマ数によって1・2・3 単位に減る場合あり。	3 後	60	4	△	△	
○			国家試験対策 I	コンピュータ専門学校必須資格である情報処理技術者試験の合格を目指す。	3 後	90	6	○		
○			VBIV	Visual Basic を利用した Windows プログラミングの実践的な技術を習得する。	4 前	30	2	○		
○			VB 演習IV	Visual Basic を利用した Windows プログラミングの実践的な技術を習得する。	4 前	30	2		○	
○			スマートフォン・アプリ演習 I	スマートフォンアプリケーションの作成方法を習得する。	4 前	60	4		○	

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			PHP II_A	PHP のオブジェクト指向などの技術を習得し、利用した独自の Web サイト構築の応用知識を学習する。	4 前	30	2	○		
○			PHP 演習 II_A	PHP のオブジェクト指向などの技術を習得し、利用した独自の Web サイト構築の応用知識を学習する。	4 前	30	2		○	
○			データベースプログラミング_A	Access～VB. NET 連携システムのプログラミング技術について学習する。	4 前	30	2	○		
○			データベースプログラミング演習_A	Access～VB. NET 連携システムのプログラミング技術を習得する。	4 前	30	2		○	
○			Ajax 演習_A	現在までに学習した JavaScript の知識を応用し、Ajax 等ユーザビリティの高い Web ページの構築技法を習得する。	4 前	30	2		○	
○			ロジカル・シンキング	実践的アウトプット力(考察・書く・話す)を習得する。	4 前	30	2	○		
○			Listening & Speaking II	英語を母国語としない人にとって最も効果的だと言われているティームティーチング(バイリンガル講師とネイティブ講師が担当)で、コミュニケーション能力を磨く。	4 前	60	4		○	
○			TOEIC 対策	英語力だけでは高得点を取得することが難しい検定試験。時間配分・問題の解き方などのテクニックを徹底的に身に付ける戦略クラス。	4 前	60	4	○		
○			就職対策 II	一般的な知識や社会情勢を学習し、就職試験および就職活動に役立つ能力を身につける。	4 前	30	2	○		

授業科目等の概要

(工業専門課程 高度情報処理研究学科 国際ITエキスパートコース) 平成28年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技
○			スマートフォン・アプリ演習Ⅱ	独自のスマートフォンアプリケーション作品を制作する。	4 後	60	4		○	
○			UNIX サーバー構築 I_B	UNIX/Linux ベースのサーバー構築に必要となる基礎知識を学習する。	4 後	30	2	○		
○			UNIX サーバー構築演習 I_B	UNIX/Linux ベースのサーバー構築の基礎知識を学習する。	4 後	30	2		○	
○			オブジェクト指向設計_B	オブジェクト指向の概念およびシステム設計方法、UMLによる表現方法を学ぶ。	4 後	30	2	○		
○			オブジェクト指向設計演習_B	オブジェクト指向の概念およびシステム設計方法、UMLによる表現方法を学ぶ。	4 後	30	2		○	
○			卒業制作演習(SE)	学習の集大成として、オリジナルのシステム開発の制作をグループを組んで行う。	4 後	240	16	△	△	
○			ビジネスマナー	ビジネスシーンにおけるマナーと、社会人としての行動、考え方の基本を学習する。	4 後	30	2	○		
○			SIC (夏期集中講座) 2016※	夏期に専門分野の学習と就職に向けての対策を集中的に行い、知識・技術の向上を目指す。 ※4 単位は最大コマ数の場合。コマ数によって1・2・3 単位に減る場合あり。	4 前	60	4	△	△	
合計					86科目	4110単位時間		(274単位)		